

DMEセットアップマニュアル

操作の流れ

このセットアップマニュアルでは、ヤマハDMEシリーズ(DME64N/DME24N/DME8i-C/DME8o-C/DME4io-C/DME8i-ES/DME8o-ES/DME4io-ES)の初期設定から、コンピューターにインストールしたDME DesignerとDMEを同期させてオンラインにするまでの手順を説明しています。

NOTE DME本体の詳細についてはDME本体に付属の取扱説明書を、DME Designerの詳細についてはDME Designer取扱説明書(PDFファイル)をそれぞれご参照ください。

NOTE 本書では、以下「DME」と表記している場合は、DME64N/DME24N/DME8i-C/DME8o-C/DME4io-C/DME8i-ES/DME8o-ES/DME4io-ESを示します。「DME Satellite」と表記している場合は、DME8i-C/DME8o-C/DME4io-C/DME8i-ES/DME8o-ES/DME4io-ESを示します。

ソフトウェアのインストール

- **DME DesignerおよびDME-N Network Driverのインストール(3ページ)**
- **USB-MIDI Driverのインストール(4ページ)**

DMEのネットワーク設定(5ページ)

USBケーブルで接続して、DME DesignerからDMEのIPアドレスとデバイスグループのマスター /スレーブを設定します。

コンピューターとDMEの接続(7ページ)

1台のDMEとコンピューターを直接接続する例と、複数台のDMEとコンピューターを同じサブネット内で接続する例を説明しています。オーディオ接続やさらに詳しいネットワーク接続については、DME本体の取扱説明書をご参照ください。

コンピューターのネットワーク設定

コンピューターとDMEをEthernetケーブルで接続する場合は、必ず設定してください。

- **コンピューターのTCP/IP設定(8ページ)**
- **DME-N Network Driverのセットアップ(10ページ)**

DME Designerの操作

- **コンフィギュレーションの作成(11ページ)**
DME Designerを起動して、コンフィギュレーション(各種オーディオモジュールの組み合わせと結線情報)を作成するまでの手順を説明します。
- **オンラインへの移行(13ページ)**
DME Designerで作成したコンフィギュレーションをDME本体に転送して、オンラインに移行する手順を説明します。

困ったときは(16ページ)

付録

- **DME64N/24Nのパネル操作によるネットワーク設定(18ページ)**
- **DME-N Network Driverの詳細セットアップ(19ページ)**

ソフトウェアのインストール

以下のヤマハプロオーディオサイトのダウンロードページから、あらかじめDME Designer Combo InstallerおよびUSB-MIDI Driverをダウンロードしておいてください。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

DME Designerの動作環境

OS	Windows® XP Professional/XP Home Edition/2000 Professional
CPU	1GHz以上のIntel® Core™/Pentium®/Celeron® ファミリーのプロセッサ
メモリー	256MB以上
ハードディスク空容量	300MB以上
ディスプレイ	1280 × 1024ドット以上/High Color 16bit以上
その他	マウス、100Base-TX/10Base-T EthernetまたはUSB接続環境

OS	Windows® Vista Ultimate/Business/Enterprise
CPU	1.4GHz 以上のIntel® Core™/Pentium®/Celeron® ファミリーのプロセッサ
メモリー	1GB以上
ハードディスク空容量	300MB以上
ディスプレイ	1280 × 1024ドット以上/High Color 16bit以上
その他	マウス、100Base-TX/10Base-T EthernetまたはUSB接続環境

DME DesignerおよびDME-N Network Driverのインストール

以下の手順に従って、DME Designer Combo InstallerからDME DesignerおよびDME-N Network Driverをインストールしてください。

NOTE 古いバージョンのDME DesignerまたはDME-N Network Driverがインストール済みの場合でも、以下の手順に従ってインストールできます。

NOTE 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。

1 ダウンロードして解凍した「DME Designer Combo Installer V*.*」(*.*はバージョン番号)フォルダーの中の「Installer」フォルダーにある「setup.exe」をダブルクリックします。

DME Designer Combo Installerのセットアップダイアログが表示されます。



2 画面の指示に従ってインストールを実行します。

DME Designer→DME-N Network Driverの順にインストールされます。

古いバージョンのDME DesignerまたはDME-N Network Driverがすでにコンピューターにインストールされている場合は、自動的に古いバージョンをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。アンインストール後にコンピューターの再起動を求められますので、必ず再起動してください。コンピューターを再起動すると、自動的にインストーラーが起動してインストールを続行します。

インストール後、コンピューター上(デフォルトでは「Program Files¥YAMAHA¥OPT Tools」フォルダー)に「DME Designer」フォルダーが追加されます。

NOTE DME Designerの操作方法については、「DME Designer取扱説明書」(PDFファイル)をご覧ください。「DME Designer取扱説明書」は、インストールされません。以下のヤマハプロオーディオサイトからダウンロードしてご覧ください。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

NOTE DME Designer V3を使用する場合は、ファームウェアがV2およびV1のDMEとは通信できません。必要に応じて、以下のヤマハプロオーディオサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、アップデートしてください。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

NOTE アンインストール後にコンピューターを再起動するとインストーラーも自動的に起動しますが、まれにインストーラーがタスクバーに隠れることがあります。その場合は、このアイコンをクリックしてインストールを続行してください。

USB-MIDI Driverのインストール

NOTE インストール手順の詳細については、ドライバーに付属のインストールガイドもご参照いただけます。

■ Windows Vistaの場合

- 1 DMEの電源は切ったままで、コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 2 コンピューターとDMEをUSBケーブルで接続します。
- 3 DMEの電源を入れると、「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されます。
- 4 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] → [オンラインで検索しません] を選択します。
- 5 付属のディスクの挿入を促すメッセージが表示されたら、[ディスクはありません。他の方法を試します] → [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] → [参照] を選択して、ダウンロードして解凍した「Driver」フォルダーを指定して[OK]をクリックします。
- 6 [次へ]をクリックすると、インストールが始まります。
- 7 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されるので、[完了]をクリックします。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

■ Windows XPの場合

- 1 DMEの電源は切ったままで、コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 2 [スタート] → [コントロールパネル] で、画面左上の「クラシック表示に切り替える」を選択して、すべてのコントロールパネルとアイコンを表示します。
- 3 [システム] → [ハードウェア] → [ドライバーの署名] → [ドライバー署名オプション] で「無視-ソフトウェアをインストールし、確認を求めない」を選択して、[OK]をクリックします。
この設定は、インストール完了後に元に戻してください。
- 4 DMEの電源は切ったままで、コンピューターとDMEをUSBケーブルで接続します。
- 5 DMEの電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。
- 6 「一覧または特定の場所からインストールする」 → 「次の場所で最適のドライバを検索する(詳細)」で、[次の場所を含める]だけにチェックを入れて、[参照]でダウンロードして解凍した「Driver」フォルダーを指定して[OK]をクリックします。

- 7 [次へ]をクリックすると、インストールが始まります。
- 8 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されるので、[完了]をクリックします。
- 9 再起動を促すメッセージが表示されるので、コンピューターを再起動します。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

■ Windows 2000の場合

- 1 DMEの電源は切ったままで、コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 2 [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] → [ドライバーの署名] → [ファイルの署名の確認] で「無視-ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」を選択して、[OK]をクリックします。
この設定は、インストール完了後に元に戻してください。
- 3 DMEの電源は切ったままで、コンピューターとDMEをUSBケーブルで接続します。
- 4 DMEの電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。
[次へ]をクリックします。
- 5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」 → [場所を指定]を選択して、[参照]でダウンロードして解凍した「Driver」フォルダーを指定して[OK]をクリックします。
- 6 [次へ]をクリックすると、インストールが始まります。
- 7 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されるので、[完了]をクリックします。
- 8 再起動を促すメッセージが表示されるので、コンピューターを再起動します。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

DMEのネットワーク設定

コンピューターとDMEをUSBケーブルで接続して、DME DesignerからDMEのデバイスグループとIPアドレスを1台ずつ設定します。

NOTE DME64N/24Nをお使いの場合は、DME64N/24のパネル操作で設定することもできます(18ページ)。

デバイスグループ

複数台のDMEがある場合、DMEは「デバイスグループ」単位でDME Designerからコントロールされます。デバイスグループ全体はマスターとなるDME経由でコントロールされるため、デバイスグループ内で必ず1台をマスターに設定します。

IPアドレス

同じデバイスグループに設定するには、ネットワークアドレスを同じに設定します。デバイスグループマスターはホストアドレスを使って指定します。



- 1 DMEの電源は切ったままで、コンピューターとDMEをUSBケーブルで接続します。

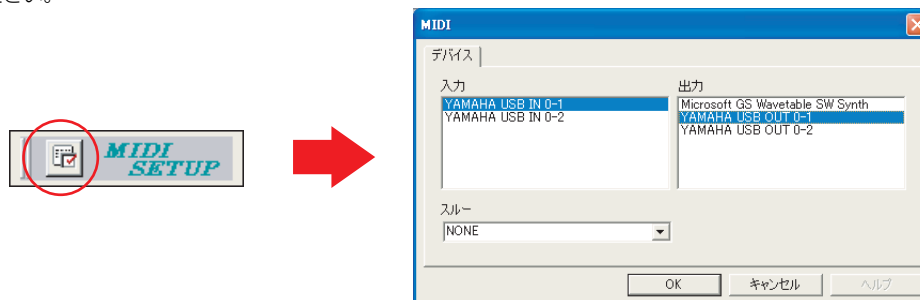


- 2 DMEの電源を入れます。

- 3 [スタート]→[すべてのプログラム]→[YAMAHA OPT Tools]→[DME Designer]→[DME Designer]をクリックして、DME Designerを起動します。

- 4 MIDI Setupボタンをクリックして、MIDIダイアログボックスを表示します。

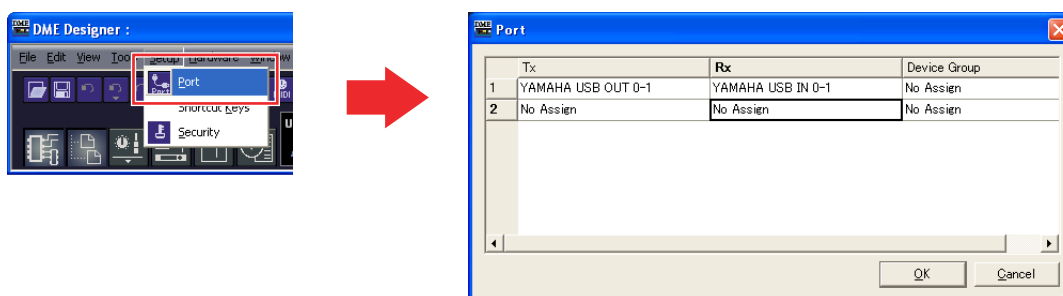
NOTE MIDI Setupボタンが画面上に見当たらない場合は、タスクバーに隠れています。これをダブルクリックしてMIDIダイアログボックスを表示してください。



- 5 [入力]欄には入力ポート「YAMAHA USB IN 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1」、[出力]欄には出力ポート「YAMAHA USB OUT 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1」を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

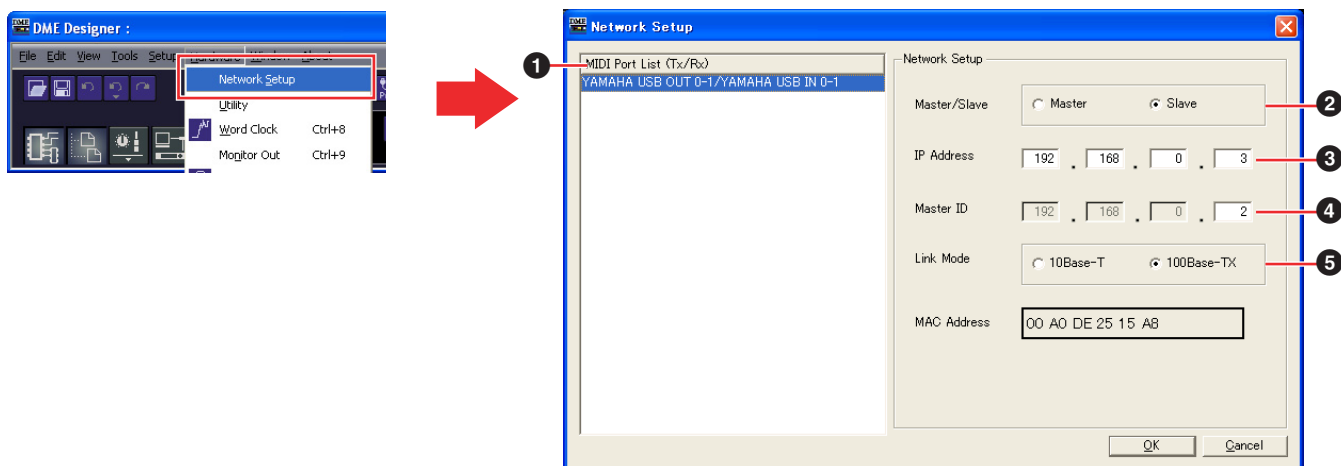
NOTE MIDIダイアログボックスにDMEのポートが表示されない場合は、DMEの電源が入っていることを確認して、DME Designerを起動しなおしてください。

- 6 DME Designerメインパネルの[Setup]メニュー→[Port]をクリックして、Portダイアログボックスを表示します。



7 [Tx](送信)欄に「YAMAHA USB OUT 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1」、[Rx](受信)欄に「YAMAHA USB IN 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1」を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

8 メインパネルウィンドウの[Hardware]メニュー→[Network Setup]をクリックして、Network Setupダイアログボックスを表示します。



9 以下のネットワーク設定を行ってから、[OK]ボタンをクリックします。

① MIDI Port List (Tx/Rx)

ネットワーク設定を行なうDMEのポートとして、「YAMAHA USB OUT 0-1/YAMAHA USB IN 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1/Yamaha DME NETWORK-1」を選択します。

② Master/Slave (マスター/スレーブ)

デバイスグループのマスター/スレーブを選択します。

Master (マスター): デバイスグループ内で必ず1台をマスターに設定してください。

Slave (スレーブ): その他のDMEは、スレーブに設定してください。

NOTE DME64N/24NとDME Satelliteを組み合わせて使用する場合、必ずDME Satelliteをマスターに設定してください。

③ IP Address (IPアドレス)

DMEのIPアドレスを設定します。同じデバイスグループのDMEは、同じネットワークアドレスに設定します。



NOTE DMEが1台(マスター)の場合は、「192.168.0.2」に設定することをおすすめします。

NOTE サブネットマスクは、「255.255.255.0」固定です。

NOTE 設定できるホストアドレスの範囲は、マスターが2~253、スレーブが3~253です。

NOTE 特に必要がない限り、IPアドレスはプライベートアドレスに設定してください(192.168.0.2~192.168.255.253)。グローバルアドレスに設定する必要がある場合は、ネットワーク管理者に相談した上で設定してください。

④ Master ID (マスター ID)

上記②でスレーブに設定した場合、そのデバイスグループのマスターのホストアドレスを指定します。マスターでは設定できません。

⑤ Link Mode (リンクモード)

100Base-TXを選択します。

10 複数台のDMEがある場合は、同様の手順で1台ずつ設定します。

コンピューターとDMEの接続

オーディオ接続やさらに詳しいネットワーク接続については、DME本体の取扱説明書をご参照ください。

NOTE オーディオ接続にCobraNet™を使用する場合は、DME Designerでバンドル番号などのCobraNet設定が必要になります。

NOTE オーディオ接続にEtherSound™を使用する場合は、AuviTran社のソフトウェアAVS-ESMonitorでルーティングなどのEtherSound設定が必要になります。

http://www.auvitran.com/view.php?products_AVS-ESMonitor.php

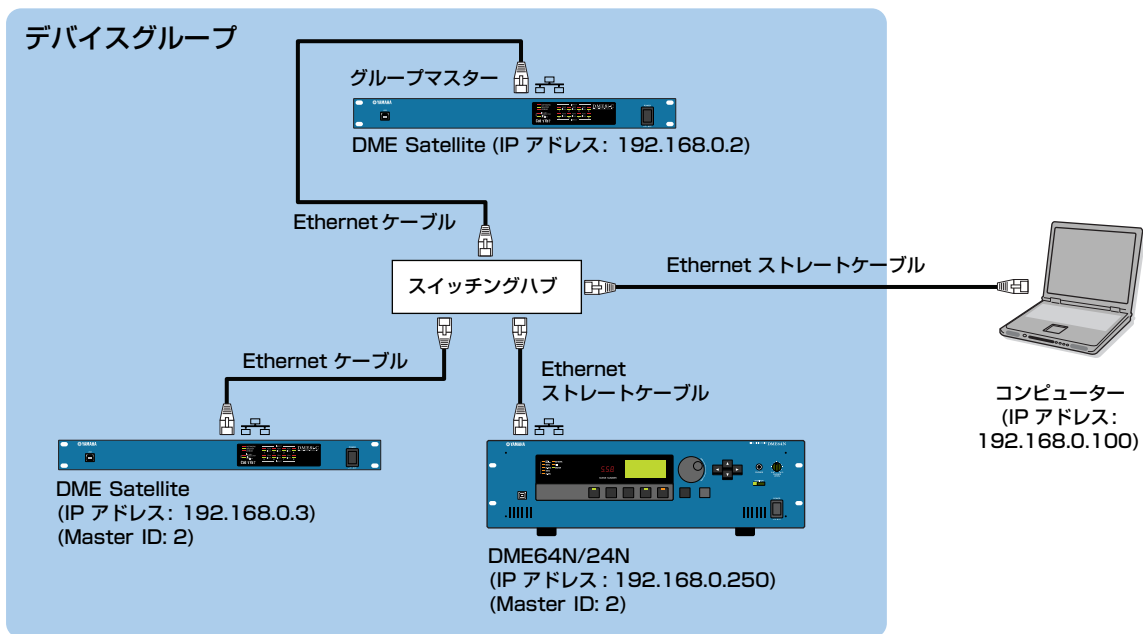
1台のDMEとコンピューターを直接接続する場合

コントロールするDMEが1台だけの場合は、「DMEのネットワーク設定」(5ページ)と同様に、コンピューターとUSBケーブルで接続します。



複数台のDMEとコンピューターを同じサブネット内に接続する場合

複数台のDMEをコントロールする場合は、スイッチングハブを経由してEthernetケーブルで接続します。



NOTE コンピューターとデバイスグループマスターのDMEとの間は、USBケーブルで接続することもできます。また、デバイスグループマスターがDME Satelliteの場合、USBケーブルでスレーブのDMEに接続することもできます。

NOTE 100BaseTX対応スイッチングハブを使用してください。

NOTE スwitchングハブとDME間のケーブルの長さは、最大100メートルです。ただし、使用するスイッチングハブやケーブルの品質により、この長さを保証できない場合もあります。

NOTE 電磁干渉防止のためには、CAT5のSTPケーブル(シールド付きツイストケーブル)をお使いください。

コンピューターのネットワーク設定

コンピューターとDMEをEthernetケーブルで接続する場合は、必ず設定してください。

コンピューターのTCP/IP設定

コンピューターがDMEとネットワーク通信するために、まずコンピューターのIPアドレスおよびTCP/IPフィルタリングを設定します。

■ Windows Vistaの場合

- 1 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]→[ネットワーク接続の管理]→[ローカルエリア接続]を選択します。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。

- 2 [ネットワーク]タブの[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択して、[プロパティ]をクリックします。

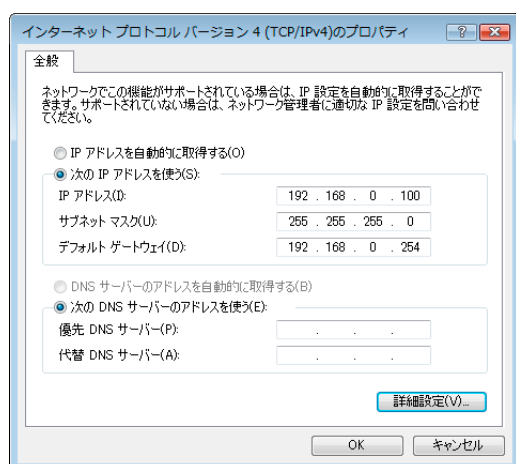
「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログが表示されます。

- 3 [全般]タブの[次のIPアドレスを使う]をクリックします。

- 4 [IPアドレス]にコンピューターのIPアドレス、[デフォルトゲートウェイ]にゲートウェイのIPアドレス、[サブネットマスク]に「255.255.255.0」を入力します。

NOTE 7ページのようにDMEとコンピューターを同じサブネットに接続した場合は、ネットワークアドレスはDMEと同じで、ホストアドレスだけ異なるIPアドレスを設定してください。

NOTE DMEとコンピューターを同じサブネットに接続した場合は、ゲートウェイのIPアドレスはホストアドレスを254にしてください。



- 5 [OK]ボタンをクリックします。

- 6 コンピューターを再起動します。

■ Windows XPの場合

- 1 [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
「コントロールパネル」が表示されます。

- 2 「コントロールパネル」がカテゴリー表示の場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

- 3 [ネットワーク接続]→[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

「ローカルエリア接続の状態」ダイアログが表示されます。

- 4 [全般]タブの[プロパティ]をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。

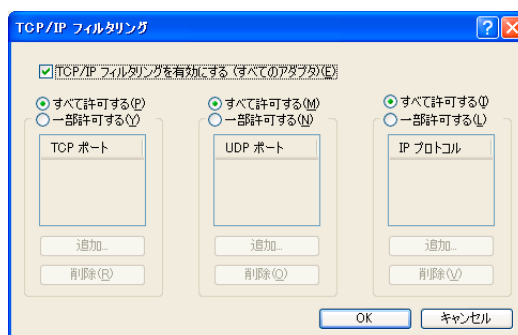
- 5 [全般]タブの[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択して、[プロパティ]をクリックします。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」ダイアログが表示されます。

- 6 [詳細設定]をクリックして、「TCP/IP詳細設定」ダイアログで[オプション]タブの[プロパティ]をクリックします。

「TCP/IPフィルタリング」ダイアログが表示されます。

- 7 TCPポートの[すべて許可する]を選択して[OK]ボタンをクリックします。



「TCP/IP詳細設定」ダイアログに戻りますので、[OK]をクリックします。

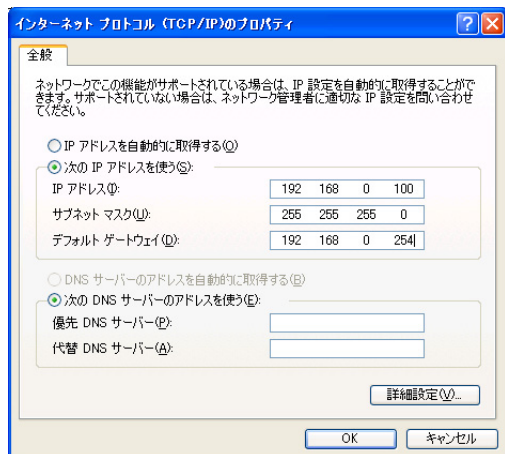
「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」ダイアログに戻ります。

- 8 [全般]タブの[次のIPアドレスを使う]をクリックします。

- 9 [IP アドレス]にコンピューターのIPアドレス、[デフォルトゲートウェイ]にゲートウェイのIPアドレス、[サブネットマスク]に「255.255.255.0」を入力します。

NOTE 7ページのようにDMEとコンピューターを同じサブネットに接続した場合は、ネットワークアドレスはDMEと同じで、ホストアドレスだけ異なるIPアドレスを設定してください。

NOTE DMEとコンピューターを同じサブネットに接続した場合は、ゲートウェイのIPアドレスはホストアドレスを254にしてください。



- 10 [OK]ボタンをクリックします。

- 11 コンピューターを再起動します。

Windows 2000の場合

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]→[ローカルエリア接続]を選択します。

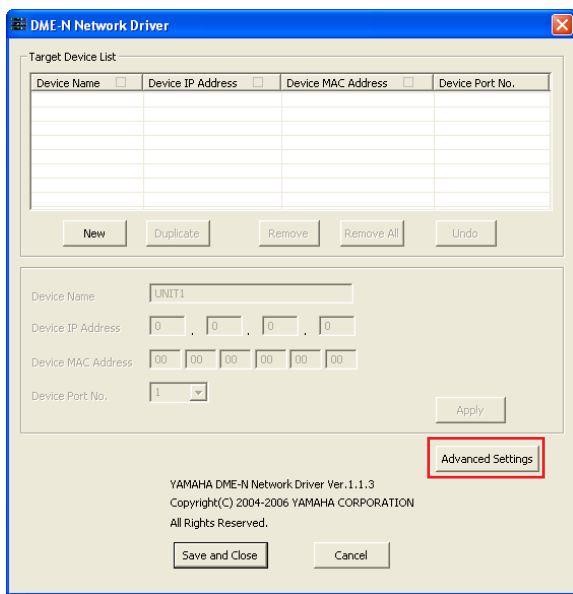
「ローカルエリア接続の状態」ダイアログが表示されます。

- 2 「Windows XPの場合」の手順4以降に従ってインストールします。

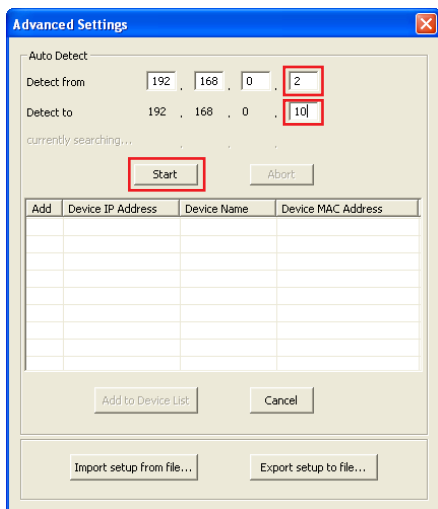
DME-N Network Driverのセットアップ

コンピューターがDMEを認識するために、デバイスグループマスターとなるDMEのIPアドレスやデバイス名などを登録しておく必要があります。

- 1 コンピューターとDMEを7ページのように正しくネットワーク接続して、DMEの電源を入れます。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]→[DME-N Network Driver]をダブルクリックして、「DME-N Network Driver」ダイアログを開きます。



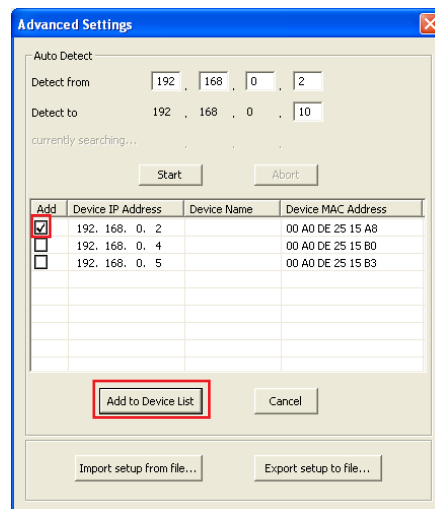
- 3 [Advanced Settings] ボタンをクリックして、「Advanced Settings」ダイアログを開きます。このダイアログでは、ネットワークに接続されたDMEの自動検出を行いません。



- 4 [Detect from]欄と[Detect to]欄で、DMEを自動検出するIPアドレスの範囲を設定して、[Start]ボタンをクリックします。
DMEの自動検出が開始されます。

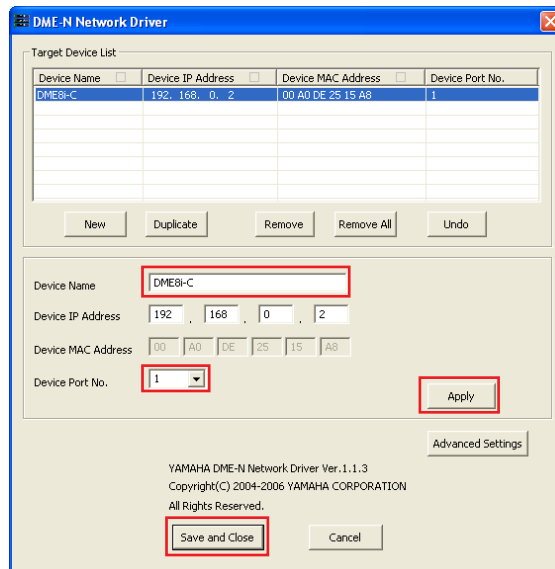
- 5 DMEの自動検出が終了したら、デバイスグループマスターとなるDMEの[Add]欄にチェックを付けて、[Add to Device List]をクリックします。

「Advanced Settings」ダイアログが閉じて、「DME-N Network Driver」ダイアログに戻ります。



NOTE IPアドレスが検出できなかった場合は、手でDMEを登録してください(19ページ)。

- 6 Target Device ListでデバイスグループマスターとなるDMEを選択して、Device Name(デバイス名)とDevice Port No.(MIDIポート番号)を設定し、[Apply]ボタンをクリックします。



Device Name (デバイス名)

DME Designer上でポート名として表示されます。

Device Port No. (MIDIポート番号)

1に設定してください。DME64N/24Nの場合は、2に設定することもできます。

- 7 [Save and Close]ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

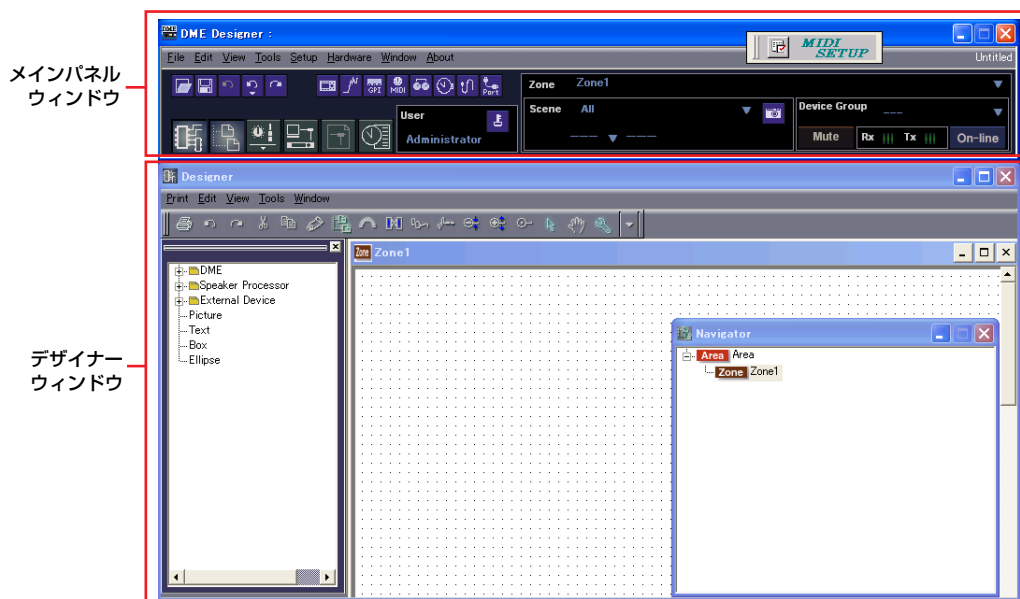
DME Designerの操作

コンフィギュレーションの作成

DME Designerを起動して、DMEのコンフィギュレーション(各種オーディオモジュールの組み合わせと結線情報)を作成します。コンフィギュレーションの作成中は、DMEとの接続を外しておいても構いません。

- 1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[YAMAHA OPT Tools]→[DME Designer]→[DME Designer]をクリックして、DME Designerを起動します。

DME Designerを起動すると、新規プロジェクトが作成され、デザイナーウィンドウには新規ゾーン(Zone 1)が表示されます。

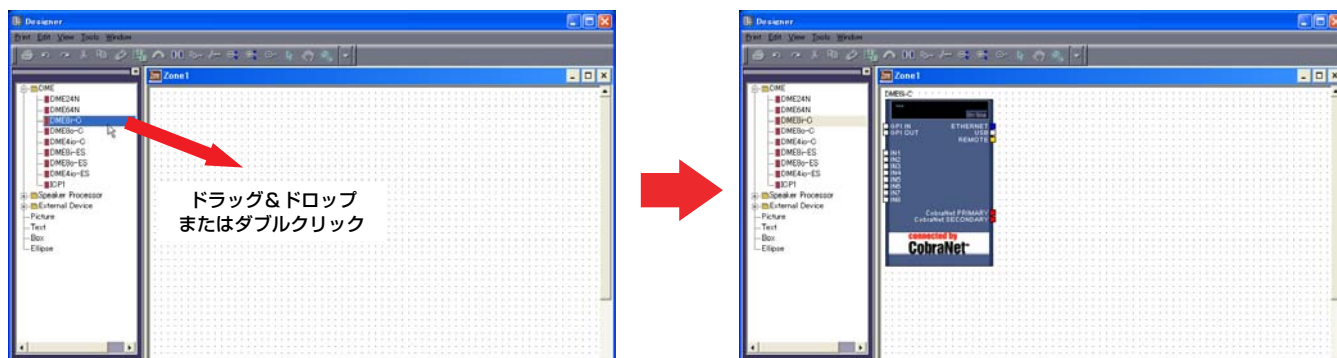


上記のデザイナーウィンドウが表示されない場合は、メインパネルウィンドウの[Show/Hide Designer]ボタンをクリックして、デザイナーウィンドウを表示します。



- 2 デザイナーウィンドウで、該当するDMEオブジェクトを配置します。

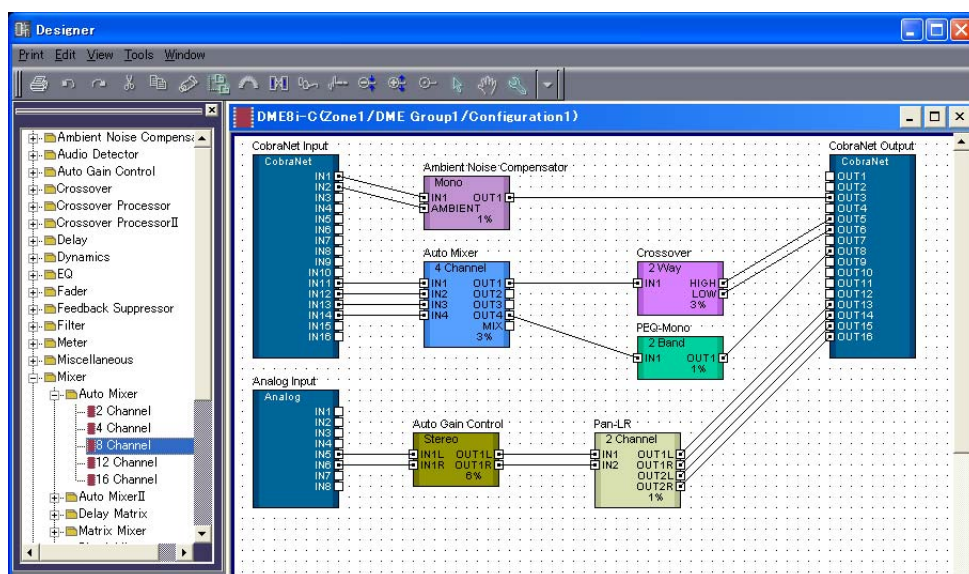
左側にあるToolkitウィンドウからDMEオブジェクトを選択してドラッグ&ドロップ、またはダブルクリックでゾーンに配置します。



NOTE 必要に応じて、DMEオブジェクト配置時に表示されるダイアログボックスで、デバイスグループやサンプリング周波数を変更します。

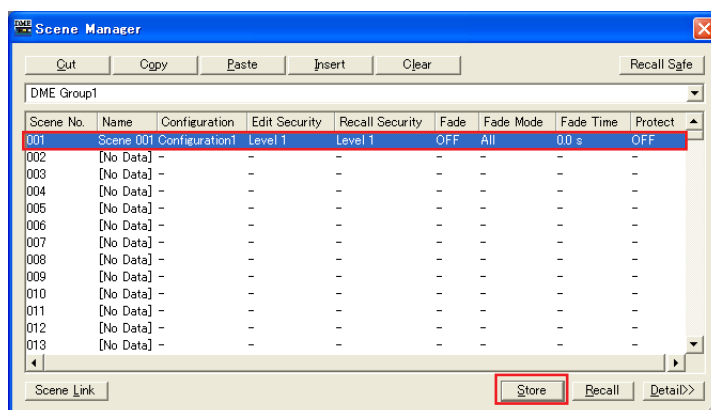
NOTE ここで設定したサンプリング周波数と実際にDME本体を動作させるサンプリング周波数が異なると、DSPパワーが不足して動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 3 必要に応じて、配置したDMEオブジェクトをダブルクリックして、DMEのコンフィギュレーションウィンドウを開きます。コンフィギュレーションウィンドウでは、コンポーネント(各種オーディオ処理モジュール)を配置したり、ワイヤーで結線したりして、「コンフィギュレーション」を作成します。ここでは、空のコンフィギュレーションのままでも構いません。コンフィギュレーションの作成について詳しくは、DME Designer取扱説明書をご参照ください。



- 4 メインパネルウィンドウの[Tools]メニュー→[Scene Manager]コマンドで、Scene Managerダイアログボックスを表示します。

Scene Managerダイアログボックスでは、設定したコンフィギュレーションのパラメーター設定を「シーン」として保存します。



- 5 保存したいシーンの行を選択し、[Store]ボタンをクリックして保存します。

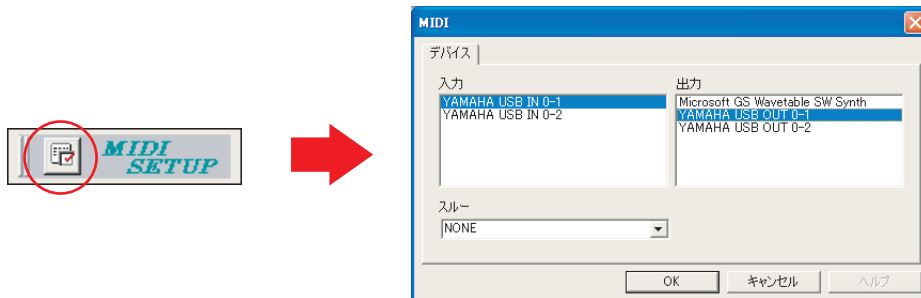
- 6 メインパネルウィンドウの[File]メニュー→[Save As]コマンドで、コンフィギュレーションなどの設計情報をプロジェクトファイル(拡張子 .daf)として保存します。



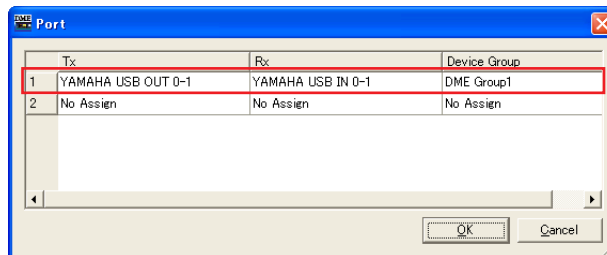
オンラインへの移行

コンピューターとDMEを接続して、DME Designerで作成したコンフィギュレーションをDME本体に転送します。DME本体とDME Designerが通信して同期している状態を「オンライン」と呼びます。また、オンラインにすると、DME本体をリアルタイムでコントロールできます。

- 1 DMEとコンピューターが7ページのように接続された状態で、DMEの電源を入れます。
- 2 DME Designerを起動して、メインパネルウィンドウの[File]メニュー→[Open]コマンドから先ほど保存したプロジェクトファイルを開きます。
NOTE 保存したプロジェクトファイルを直接ダブルクリックすることでも、DME Designerを起動することができます。
- 3 MIDI Setupボタンをクリックして、MIDIダイアログボックスを表示します。
NOTE DMEのポートが表示されない場合は、DMEの電源が入っていることを確認して、DME Designerを起動しなおしてください。



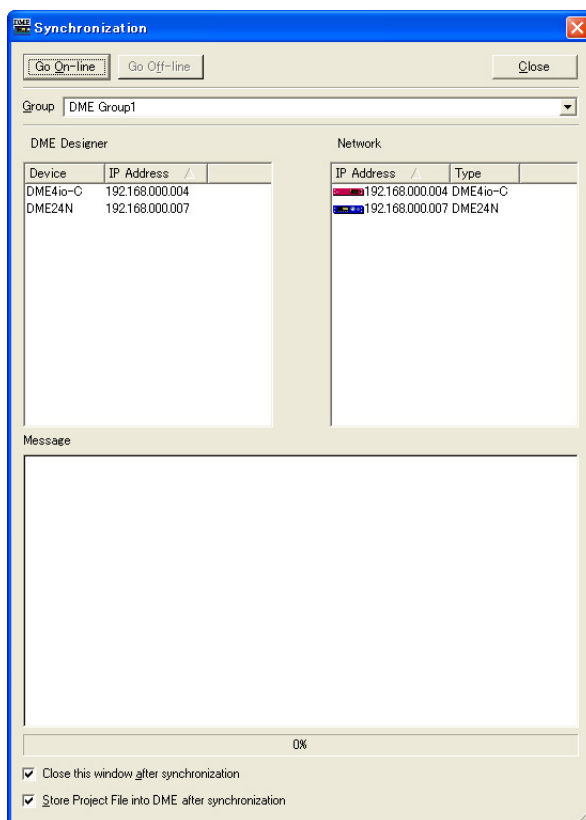
- 4 デバイスグループマスターをコントロールする入力ポートおよび出力ポートを選択して、[OK]ボタンをクリックします。
USB接続の場合は「YAMAHA USB IN 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1」、および「YAMAHA USB OUT 0-1」または「Yamaha DME NETWORK-1」、Ethernet接続の場合はDME-N Network Driverで設定したデバイス名(10ページ)を選択します。
- 5 メインパネルの[Setup]メニュー→[Port]をクリックして、Portダイアログボックスを表示します。



- 6 [Tx] (送信)および[Rx] (受信)欄に手順4で選択した出力ポートおよび入力ポート、[Device Group]欄には該当するデバイスグループを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

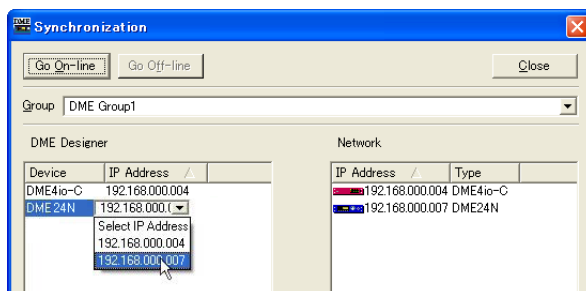
7 メインパネルウィンドウの[Tools]メニュー→[Synchronization]をクリックし、Synchronizationダイアログボックスを表示します。

左側の[DME Designer]リストにはDME Designerでオブジェクトを配置したDMEのリストが、右側の[Network]リストにはネットワークに接続されているDMEのリストが表示されます。

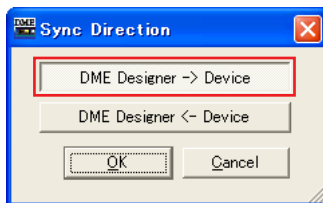


NOTE 複数のデバイスグループを設定している場合は、[Group]リストで同期を行なうデバイスグループを選択します。

8 [DME Designer]リストの[IP Address]欄をクリックして、DME Designer上のDMEと一致するDME本体のIPアドレスを選択します。



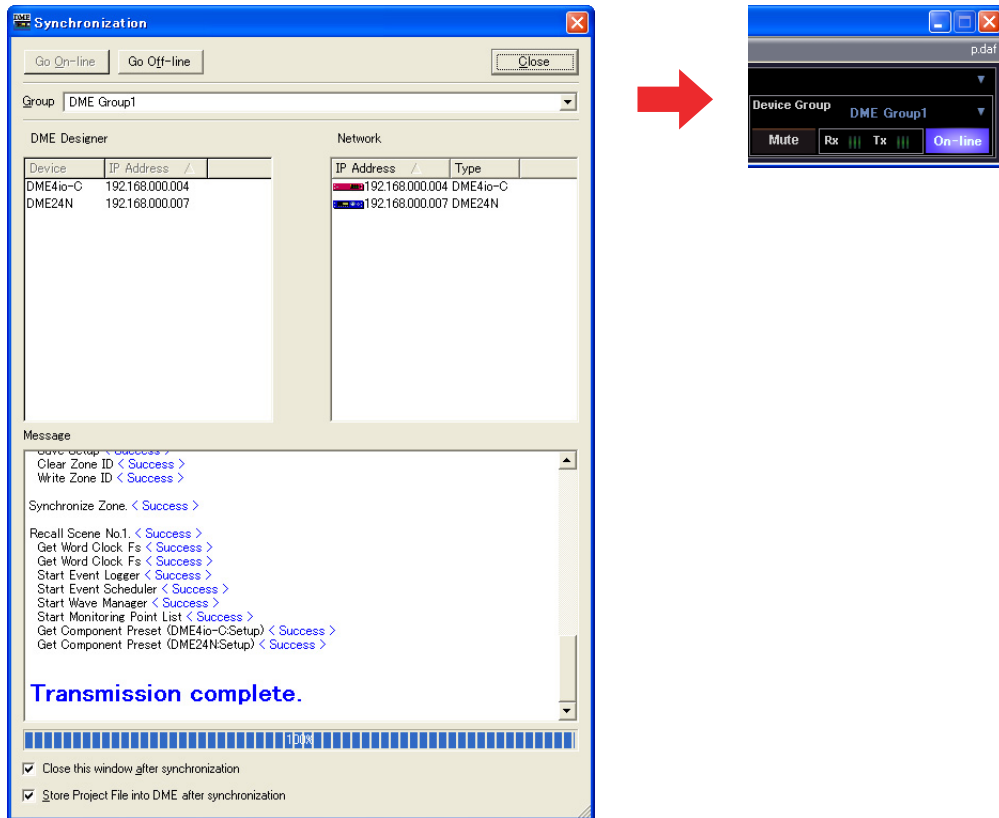
9 [Go On-line]ボタンをクリックして、同期の方向を確認するダイアログボックスを表示します。



10 [DME Designer->Device] ボタンを選択して[OK]ボタンをクリックし、DME DesignerのコンフィギュレーションをDME本体に転送します。

同期してオンラインへの移行が完了すると、[Go On-line]ボタンがグレーになり、メインパネルウィンドウの[On-line]ボタンが点灯します。

NOTE コンフィギュレーションをDME本体に転送済みの場合は、[DME Designer <- Device]方向のボタンで同期させることをおすすめします。[DME Designer -> Device]方向よりも転送時間が短くなります。ただし、コンフィギュレーションを変更した場合は、[DME Designer -> Device]方向で同期しなおす必要があります。



オフラインにするには、メインパネルウィンドウの[On-line]ボタンまたはSynchronizationダイアログボックスの[Go Off-line]ボタンをクリックします。

DME Designerでのシステム設計についてさらに詳しくは、DME Designer取扱説明書(PDFファイル)をご参照ください。オーディオ接続にCobraNetを使用する場合は、DME Designerでバンドル番号などのCobraNet設定も必要になります。オーディオ接続にEtherSoundを使用する場合は、AuviTran社のソフトウェアAVS-ESMonitorでルーティングなどのEtherSound設定も必要になります。

困ったときは

● USB-MIDI Driverがインストールできない

- USBケーブルは正しく接続されていますか？
- お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか？
はじめてDMEをコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。
 - 1 [スタート]→[コントロールパネル](→[システム]→[ハードウェア])→[デバイスマネージャ]を選択します。
デバイスマネージャ ダイアログが開きます。
 - 2 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「!」や「X」のマークがついていないことを確認してください。
「USBルートハブ」などに「!」や「X」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。
詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- 不明なデバイスが登録されていませんか？
何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、DMEが「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。
 - 1 [スタート]→[コントロールパネル](→[システム]→[ハードウェア])→[デバイスマネージャ]を選択します。
デバイスマネージャ ダイアログが開きます。
 - 2 「その他のデバイス」が表示されているかどうか確認します。
 - 3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。
 - 4 USBケーブルをDMEから抜いて、接続しなおします。
 - 5 以下、4ページのUSB-MIDI Driverのインストール方法に従って、ドライバーをインストールし直します。

● USB経由でコンピューターからDMEを操作した場合、正常に動作しない

- USB-MIDI Driverはインストールしましたか？
- USBケーブルは正しく接続されていますか？
- DME DesignerのUSBポート設定は正しいですか？
DME Designerの中の設定は「YAMAHA USB IN 0-1」(Yamaha DME NETWORK-1)と「YAMAHA USB OUT 0-1」(Yamaha DME NETWORK-1)の組み合わせにしてください。DME64N/24Nの場合は「YAMAHA USB IN 0-2」と「YAMAHA USB OUT 0-2」の組み合わせもご使用いただけます。「YAMAHA USB IN 0-1」と「YAMAHA USB OUT 0-2」の組み合わせ、および「YAMAHA USB IN 0-2」と「YAMAHA USB OUT 0-1」の組み合わせでは、ご使用できません。
- USB-MIDI DriverのThru ON/OFF設定はオフになっていますか？
[スタート]→[コントロールパネル]→[Yamaha USB-MIDI Driver]で、[Thru ON/OFF]をオフに設定してください。
- DME Designerと他のMIDIアプリケーションが同じUSBポートの設定になっていませんか？
どちらかのアプリケーションの設定を違うUSBポートに変えてください。
- Windowsに登録されているMIDI機器の台数が、制限を超えていますか？
Windowsでは、ドライバーをインストールして登録できるMIDI機器は10台までです。また、接続するUSBポートを変更すると、別の機器と認識されて制限台数に達することもあります。正常に動作しない場合は、USB-MIDI Driverを一度アンインストールしてから、インストールし直してみてください。
- USB-MIDI Driverは、DMEがサポートしている最新のものをインストールしましたか？
巻末に記載されているヤマハホームページから、DMEがサポートしている最新のドライバーをインストールできます。
- USBケーブルをつなぎ、機器の電源を入れたあとにDME Designerを起動しましたか？
DME Designerを起動する前にUSBケーブルを接続して機器の電源を入れてください。
- 動作中にUSBケーブルが抜けませんでしたか？
USBケーブルが抜けると、そのままケーブルを挿してもDME Designerは認識できません。DME Designerを再起動してください。

● Ethernet経由でコンピューターからDMEを操作した場合、正常に動作しない

- Ethernetケーブルは正しく接続されていますか？
- DME-N Network Driverの設定は正しいですか？ IPアドレスは正しいですか？
- コンピューターのネットワーク設定は正しいですか？
[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]→[ローカルエリア接続]→[プロパティ]を選び、ネットワーク設定をご確認ください。
- DMEおよびスイッチングハブなどの周辺ネットワーク機器の設定は正しいですか？
詳細はDMEおよびスイッチングハブなどの周辺ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- DME Designerのネットワークポート設定は正しいですか？
- DME-N Network Driverは、DMEがサポートしている最新のをインストールしましたか？
巻末に記載されているヤマハホームページから、DMEがサポートしている最新のドライバーをインストールできます。
- セキュリティソフトが常駐していませんか？
試しにセキュリティソフトの常駐を停止してみてください。
DME-N Network Driverが使用しているネットワークカードのTCPのポート12300を使用できるように、セキュリティソフトを設定してください。

● 正常にサスペンド、レジュームができない

- DME Designerが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？
Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラーなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、DMEは正常に動作します。)

● DME DesignerまたはDME-N Network Driverだけをインストールしたい

ダウンロードして解凍した「Installer¥DMEDesigner_」フォルダーまたは「Installer¥Networkdrv_」フォルダーにある「Setup.exe」からインストールできます。

● DME Designerをアンインストールしたい

[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]、または[スタート]→[すべてのプログラム]→[YAMAHA OPT Tools]→[DME Designer]→[アンインストール]からアンインストールできます。

● DME-N Network Driverをアンインストールしたい

[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]からアンインストールできます。

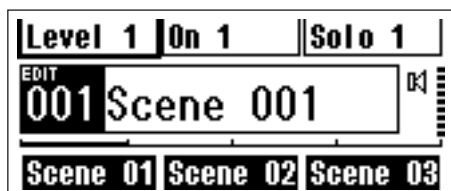
● USB-MIDI Driverをアンインストールしたい

ダウンロードして解凍した「Uninstall」フォルダーにある「uninstall.exe」からアンインストールできます。

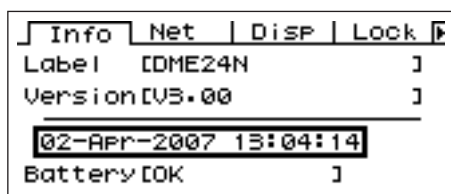
DME64N/24Nのパネル操作によるネットワーク設定

DME64N/24NのデバイスグループおよびIPアドレスは、パネル操作で設定することもできます。

- 1 DME64N/24N本体の電源を入れます。
- 2 [HOME]キーを押して、メイン画面を表示させます。



- 3 [UTILITY]キーを2秒以上押して、ユーティリティ画面を表示させます。



- 4 [UTILITY]キーを繰り返し押し、ユーティリティ画面のNetページを表示させます。



- 5 [▲][▼]ボタンを押して、カーソルを以下の各設定項目に移動して[ENTER]キーを押します。

設定変更用のダイアログが表示されます。以下のネットワーク設定を行なってください。ダイヤルを回して項目を変更して[ENTER]キーを押すと、設定が変更されます。

① Master/Slave (マスター /スレーブ)

デバイスグループのマスター/スレーブを選択します。

Master(マスター): デバイスグループ内で必ず1台をマスターに設定してください。

Slave(スレーブ): その他のDMEは、スレーブに設定してください。

NOTE DME64N/24NとDME Satelliteを組み合わせで使用する場合、必ずDME Satelliteをマスターに設定してください。

② IP Adr. (IPアドレス)

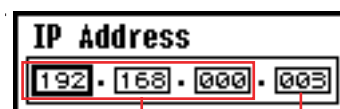
DMEのIPアドレスを設定します。同じデバイスグループのDMEは、同じネットワークアドレスに設定します。

NOTE DMEが1台(マスター)の場合は、「192.168.0.2」に設定することをおすすめします。

NOTE サブネットマスクは、「255.255.255.0」固定です。

NOTE 設定できるホストアドレスの範囲は、マスターが2~253、スレーブが3~253です。

NOTE 特に必要がない限り、IPアドレスはプライベートアドレスに設定してください(192.168.0.2~192.168.255.253)。グローバルアドレスに設定する必要がある場合は、ネットワーク管理者に相談した上で設定してください。



ネットワークアドレス ホストアドレス

③ Master ID (マスター ID)

上記①でスレーブに設定した場合、そのデバイスグループのマスターのホストアドレスを指定します。マスターでは設定できません。

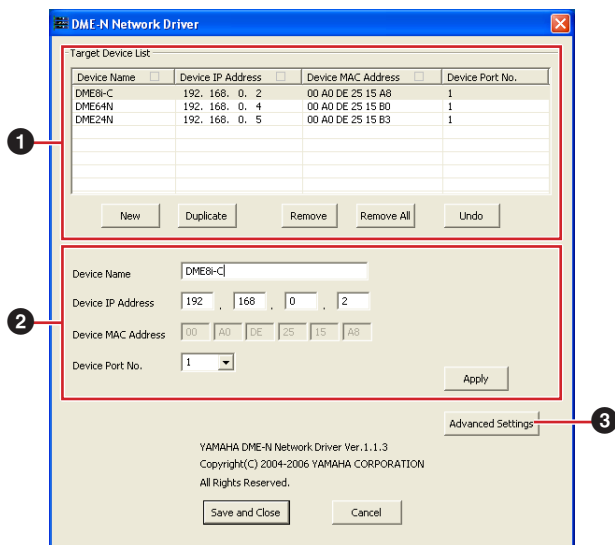
④ Link Mode (リンクモード)

100Base-TXが選択されていることを確認してください。

DME-N Network Driverの詳細セットアップ

「DME-N Network Driver」ダイアログ

[スタート]→[コントロールパネル]→[DME-N Network Driver]をダブルクリックすると、「DME-N Network Driver」ダイアログが開きます。通信する機器の情報を登録します。



① Target Device List

登録されているすべてのDME-N Network Driverと通信する機器の名前、IPアドレス、MACアドレス、MIDIポート番号のリストを表示します。タイトルバーをクリックするとソートされます。

このリストで選択したDME-N Network Driverと通信する機器の情報は、デバイス情報(②)で表示/変更できます。

Device Name

Device IP Address

Device MAC Address

Device Port No.

DME-N Network Driverと通信する機器の名前、IPアドレス、MACアドレス、MIDIポート番号をそれぞれ表示します。詳しくはデバイス情報(②)をご覧ください。

[New] ボタン

新しくDME-N Network Driverと通信する機器を追加します。デバイス情報(②)で情報を編集して[Apply]ボタンをクリックすると追加されます。

[Duplicate] ボタン

新しくDME-N Network Driverと通信する機器を追加します。選択していた機器の情報がコピーされますので、デバイス情報(②)で情報を編集して[Apply]ボタンをクリックすると追加されます。

[Remove] ボタン

選択したDME-N Network Driverと通信する機器を削除します。リストの一番下以外の行を削除すると、削除した行より下の行は上にシフトします。

[Remove ALL] ボタン

すべてのDME-N Network Driverと通信する機器を削除します。

[Undo] ボタン

直前の状態に設定を戻します。一度だけ有効で、コントロールパネル起動時やUndoを行なった直後は、グレーアウト表示されて使用できません。

② デバイス情報

Target Device Listで選択したDME-N Network Driverと通信する機器の情報を表示/設定します。

[Device Name]

Target Device Listで選択したDME-N Network Driverと通信する機器の名前を表示/設定します。初期値はUNIT1～UNIT256で、半角英数字で任意に設定できます。

[Device IP Address]

Target Device Listで選択したDME-N Network Driverと通信する機器のIPアドレスを設定します。IPアドレスの確認/設定方法については、6ページをご覧ください。

NOTE [IP Address]の設定が正しくないと、通信できません。

[Device MAC Address]

Target Device Listで選択したDME-N Network Driverと通信する機器のMAC (Media Access Control)アドレスを設定します。各機器本体のMACアドレスは製造時に決定され、変更することはできません。

MACアドレスを設定するのは、IPアドレスの設定が誤って設定された場合に、誤った機器にデータが送られないようにするためです。MACアドレスの確認方法については、6ページをご覧ください。

NOTE Device MAC Addressの設定が正しくないと、通信できません。

NOTE 実際につながっている機器のMACアドレスは変更できません。

[Device Port No.]

Target Device Listで選択したDME-N Network Driverと通信する機器のMIDIポート番号を設定します。この値は、デバイスIDとしても使用します。DME64N/24Nでは1または2に、DME Satelliteでは1に設定します。

NOTE Device Port No.の設定が正しくないと、通信できません。

[Apply] ボタン

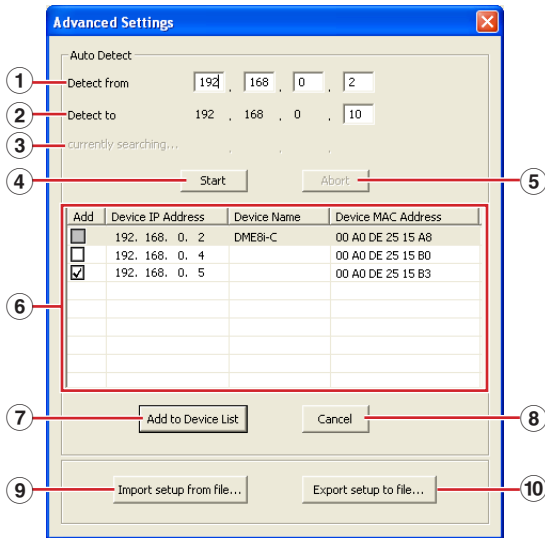
Device Name、Device IP Address、Device MAC Address、Device Port No.の変更を反映します。Target Device List (①)で[New]ボタンや[Duplicate]ボタンをクリックしたあとは、このボタンをクリックするまでDME-N Network Driverと通信する機器は追加されません。

③ [Advanced Settings] ボタン

「Advanced Settings」ダイアログが開きます。高度なセットアップを行ないません。詳細は次ページをご覧ください。

[Advanced Settings] ダイアログ

[DME-N Network Driver] ダイアログの [Advanced Settings] ボタンをクリックすると、「Advanced Settings」ダイアログが開きます。DME-N Network Driverと通信できる機器の自動検出や、設定情報のセーブ/ロードができます。



Auto Detect

接続されている機器を自動的に検出します。

最大で、***.***.***.1~***.***.***.254の254個のアドレスから検索します。

NOTE MACアドレスを検出できる機器は、PCと同じサブネットにあるものだけです。MACアドレスを検索したい場合は、PCをあらかじめ同じサブネットに接続してIPアドレスを適切に設定してください。

① Detect from

検索を開始するIPアドレスを設定します。

② Detect to

検出を終了するIPアドレスを設定します。

③ currently searching

検出中のIPアドレスを表示します。検出中以外は表示されません。

④ [Start] ボタン

自動検出を行ない、検出デバイスリスト(⑥)を更新します。検出中は、グレーアウト表示されて使用できません。

⑤ [Abort] ボタン

自動検出を中止します。検出中以外は、グレーアウト表示されて使用できません。

⑥ 検出デバイスリスト

検出したすべての機器のリストを表示します。初期状態では、何も表示されません。

[Add]

チェックすると、[Add to Device List] ボタンで Target Device List に追加されます。すでに登録されている機器 (IPアドレス) はチェックできません。

[Device IP Address]

検出した機器のIPアドレスです。

[Device Name]

検出した機器の名前が登録されている場合は、表示します。登録されていない場合は何も表示されません。

Device MAC Address

検出した機器のMACアドレスです。

⑦ [Add to Device List] ボタン

[Add] 欄でチェックがついている機器を、Target Device List に追加します。

⑧ [Cancel] ボタン

設定を更新せずにダイアログを閉じます。

⑨ [Import Setup from file] ボタン

異なる環境で作業される場合、あらかじめ保存しておいた設定を読み込むことができます。

クリックすると「既存のファイルを開く」ダイアログが開きます。

ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックすると、設定を読み込みます。

⑩ [Export setup to file] ボタン

異なる環境で作業される場合、設定を保存しておくことができます。

クリックすると「作業中のファイルを新しい名前で保存」ダイアログが開きます。

ファイル名を入力して[保存] ボタンをクリックすると、設定をファイルに保存します。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布される本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様のコンピューターにおいて使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が取得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー:

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>